(資料配付)

作成年月日	平成 31 年 1 月 21 日
作成部局課室名	企画県民部広聴課

第3回県民モニターアンケート 「猫を取り巻く状況と課題について」の調査結果

第3回県民モニターアンケート調査「猫を取り巻く状況と課題について」の調査結果をと りまとめました。アンケート結果は、今後の猫の適正管理の取り組みに活用します。

- 1 調査概要
 - (1) 調査対象者:県民モニター 2,489人
 - (2)調査期間: 平成 30年11月26日(月)
 - ~12月10日(月)[15日間]
 - (3) 調査方法:県ホームページ上のアンケートフォームに入力
 - (4) 回答者数:1,851人(回答率 74.4%)

2 調査結果の概要

西미

<参考-対象者及び回答者属性>

			対象者	回答者	回答率
	総 数		2,489	1,851	74.4%
	靕	男性	1,185	905	76.4%
ካ	別	女性	1,304	946	72.5%
	年	10~20代	146	73	50.0%
		30代	299	193	64.5%
	廿代	40代	516	358	69.4%
	10日	50代	499	387	77.6%
		60代	517	431	83.4%
		70 代以上	512	409	79.9%

項目	結果概要	
動物に対する意識	動物に対する意識について、「非常に好き(26.3%)」と「どちらかと いえば好き(49.5%)」を合わせた『好き』は75.8%であり、「どちらか といえば嫌い(11.6%)」と「非常に嫌い(2.0%)」を合わせた『嫌い』 は13.6%となった。	
猫に対する意識と 猫が嫌いな理由	猫に対する意識については、「非常に好き(17.0%)」と「どちらかと いえば好き(33.0%)」を合わせた『好き』は50.0%であり、「どちらか といえば嫌い(28.0%)」と「非常に嫌い(9.9%)」を合わせた『嫌い』 は37.9%となった。 嫌いな理由は、「糞尿による悪臭があるから(66.7%)」が最も多く、 次に「畑や庭を荒らされたり、家や車を傷つけられたりしたから (37.9%)」「鳴き声がうるさいから(36.8%)」が続いた。	
猫の飼育経験の 有無	猫の飼育経験については、「飼っている(6.3%)」、「昔、飼っていた ことがある(25.8%)」を合わせた猫の飼育経験のある人は32.1%であ り、「飼ったことがない」は67.9%となった。	
猫の飼育方法につ いての経験者の実 績及び未経験者の 意見	猫の飼育経験のある人のうち、「飼っている」人は「家の中のみで 飼っている」が82.1%であり、「昔、飼ったことがある」人は「家の中 のみで飼っていた」が31.6%、「家の中と外を自由に行き来できる状態 で飼っていた」が65.7%となった。 猫の飼育経験のない人については、「家の中のみで飼う」のがいい と考える人が75.6%で最も多く、「家の中と外を自由に行き来できる状 態で飼う」は20.0%となった。	
猫の飼育について 気をつけるべき事	猫の飼育について気をつけるべきこととしては、「最後まで飼う(終 生飼養)(88.0%)」が最も多く、「避妊去勢手術をする(66.4%)」など3 項目が 60%台で続いた。	

項目	結果概要	
猫の屋内飼育の認 知度	猫を屋内で飼育することが推奨されていることについて、「知って いる」は25.4%、「知らない」は74.6%となった。	
猫の屋内飼育につ いてどう思うか	猫の屋内飼育に対する意識については「地域の人に迷惑をかけるこ とがない(78.8%)」が最も多く、次いで「他の猫からの病気を防げる (58.1%)」「交通事故やけんかによるケガを防げる(55.2%)」が続いた。	
猫の正しい飼い方 の情報源	猫の正しい飼い方について、「見たことも聞いたこともない (55.4%)」が最も多く、次いで「テレビや新聞、雑誌等で見たり聞い たりした(34.4%)」となった。	
猫の適正な飼育や 管理のために県が 取り組むべき施策	猫の適正な飼育や管理のために県が取り組むべき施策として、「猫の正しい飼い方の普及啓発(67.4%)が」が最も多く、次いで「条例による規制(屋内飼育、所有や明示の義務など)(52.2%)」、「動物取扱業者(ペットショップ、ブリーダー等)への指導(45.9%)」が続いた。	

3 調査結果











企画県民部広聴課 (TEL078-362-3021)